

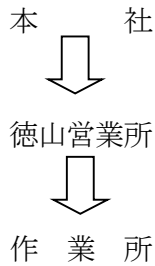
様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書 令和7年 6月 20日 都道府県知事 村岡 嗣政 殿 提出者 住 所 周南市大字下上2214番地の2 氏 名 株式会社 成凌 代表取締役 原田 亮平 電話番号 0834-34-8428 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 成凌
事業場の所在地	周南市大字下上2214番地の2
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	500万円
③ 従業員数	40人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず 中間処理業者又はリサイクル業者に委託し、原料または燃料として再資源化 ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず 中間処理業者に委託し、再資源化 がれき類 中間処理業者またはリサイクル業者に委託し、再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



本社

環境方針策定

徳山営業所

環境関連目標策定

委託契約書 作成・締結

産廃処理計画策定

処理実績集計・報告

工事担当者

マニフェスト交付・管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（2024年度）実績】

産業廃棄物の種類

別紙2-1の通り

排出量

別紙2-1の通り

t

(これまでに実施した取組)

解体工事、改修工事で可能な限り分別回収に取り組み、
再資源化を進める。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

別紙2-1の通り

排出量

別紙2-1の通り

t

(今後実施する予定の取組)

現状の取り組みを継続する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、ガラスくず、
コンクリートくず、陶磁器くず、がれき類について、
可能な限り分別収集を実施する。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
現状の取り組みを継続する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2024 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙2-1の通り	t
	(これまでに実施した取組)		
	なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙2-1の通り	t
	(今後実施する予定の取組)		
	なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2024 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙2-1の通り	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙2-1の通り	t
	(これまでに実施した取り組み)		
	なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙2-1の通り	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙2-1の通り	t
	(今後実施する予定の取組)		
	なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2024 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1の通り	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	別紙2-1の通り	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1の通り	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	別紙2-1の通り	t
	(今後実施する予定の取組) なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2024 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1の通り	
	全 処 理 委 託 量	別紙2-1の通り	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙2-1の通り	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙2-1の通り	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙2-1の通り	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙2-1の通り	t
	(これまでに実施した取り組み) 優良認定処理業者への処理委託を推進する。 委託処理業者の許可条件、処理能力を確認し委託契約を締結する。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1の通り	
	全 処 理 委 託 量	別紙2-1の通り	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙2-1の通り	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙2-1の通り	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙2-1の通り	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙2-1の通り	t
	(今後実施する予定の取組)		
	現状の取り組みを継続する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書(補足)(令和7年度計画)

別紙2-1

多量排出事業者 名 称	株式会社 成凌	所在地(市町名)	周南市	事業の種類	総合工事業
-------------	---------	----------	-----	-------	-------

(単位：トン)																					
区分	種 類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
		排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
産業廃棄物	燃え殻																				
	汚泥	6	10									6	10	6	10						
	廃油																				
	廃酸																				
	廃アルカリ	0	0									0	0	0	0						
	廃プラスチック類	195	300									195	300	33	50						
	紙くず	14	20									14	20	1	10						
	木くず	655	700									655	700	111	200						
	繊維くず	6	10									6	10	2	5						
	動植物性残さ																				
	動物系固形不要物																				
	ゴムくず																				
	金属くず	5	10									5	10	3	5						
	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	710	800									710	800	7	100						
	鉱さい																				
	がれき類	2,180	3,000									2,180	3,000	9	100						
	動物のふん尿																				
	動物の死体																				
	ばいじん																				
	13号廃棄物																				
	安定型混合廃棄物	2	5									2	5	2	5						
	管理型混合廃棄物	6	10									6	10	6	10						
	石棉含有産業廃棄物	37	40									37	40	0	20						
	水銀使用製品産業廃棄物	0	0									0	0	0	0						
計 (A)		3,815	4,905	0	0	0	0	0	0	0	0	3,815	4,905	181	515	0	0	0	0	0	0